



「自分たちの学校を、自分たちの手で」

～校則見直しプロジェクト進行中！～

現在、高学年を中心とした代表委員会では、「校則（若葉っ子のくらし）の見直し」という大きなミッションに取り組んでいます。単にルールを変えることが目的ではなく、そのプロセスを通じて子どもたちの「自律」を育むことがねらいです。

これまでの歩みと、次回の意見交流会についてお知らせいたします。

【今回の話し合いのテーマ】

「ランドセルや筆箱に、キーホルダーや飾りをつけてもよいか？」

これまで「不要なものはつけない」としてきたルー

ルに対し、全校の子どもたちで改めて向き合いました。代表委員会では、各学年や委員長から鋭く、かつ思いやりのある意見が飛び交いました。

【子どもたちから出た主な意見】

低学年の視点：「勉強に集中できなくなるかも」「失くして悲しい思いをする人が出る」「学校は勉強する場所だから、関係ないものは持ってくるべきではない」

高学年の視点：「お守りや防犯ブザーは別ではないか」「ランドセル（通学用）と筆箱（学習用）は分けて考えるべき」「周りに迷惑をかけない範囲なら良いのではないか」

このように、学年によって「学校生活」を捉える視点が異なり、非常に深い議論となっています。

【なぜ、時間をかけて話し合うのか？】

学校がこのプロセスを大切に理由は、以下の3つの力を育みたいと考えているからです。

納得感と責任感

「決められたから守る」のではなく、「自分たちで決めたから守る」という主体性を育みます。

多様性の理解

自分の意見を伝えつつ、他者の意見を聞くことで「そんな考え方もあるんだ！」という新しい価値観に出会います。

折り合いをつける力

全員が100%満足するのは難しくても、「どうすればみんなが納得できるか」という落とし所を見つける社会性を学びます。

【ご案内：保護者の皆様もぜひご参加ください！】

この話し合いの最終ステップとして、子ども・教職員・保護者の三者で意見を交わす時間を設けます。大人の視点からのアドバイスも、子どもたちにとって大きな学びになります。

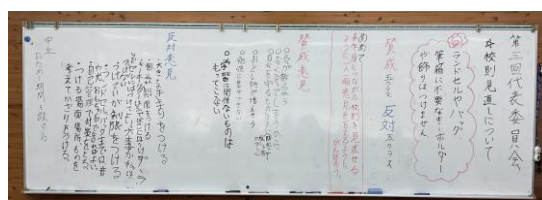
日時：2月20日(金) 13:20～13:50(授業参観前)

内容：代表児童との意見交流・意見共有

場所：外国語ルーム



2/12の代表委員会の様子



子どもたちが一生懸命に「より良い学校づくり」を考えている姿を、ぜひご覧ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。